

公益財団法人 南砺幸せ未来基金

令和6年度 事業報告書

I 概要と主な成果

未来の南砺を創るための仕組みとして財団を通して、人や活動を支援し、人と人をつなぐことで、支え合う地域の力を育てます。(公財)南砺幸せ未来基金設立以来、市域のコミュニティ財団の役割や機能を発揮する地域の中間支援組織として活動してきました。

南砺市内における地域課題解決能力を高めるために、地域課題の要因の洗い出しや、実行団体・個人の実情に合わせ、活動に対する段階的なサポート、事業の伴走支援を行っています。継続的な地域活動の支援をするために重要な活動であると考えています。

地域資源・精神風土を最大限活かし、南砺全体の持続可能な循環共生型社会の「南砺の未来資本」を創りあげ、次世代にバトンタッチしていくことを大切にしながら、助成事業の拡充および南砺幸せ未来基金(以下、財団)運営の基盤構築など、以下の5点を重点事項として位置づけ取り組みを進めました。

II 重点事業

- (1) 相談体制構築・支援事業実施
- (2) 情報発信・普及啓発
- (3) 調査・研究
- (4) 志金調達
- (5) 組織基盤強化

(I) 相談体制構築・支援事業実施

南砺市は人口減少、少子高齢化、若者の流出、世帯の小規模化・単身化などによって、地域社会の支え合いの仕組みが脆弱になっている。そのため、地域には複合化・複雑化した課題や事例が増加し、これまでの取組では解決が難しい現状である。

市域コミュニティ財団の役割と機能を通じて地域と市民の自立性を高めることは、地域の持続可能な社会の実現を目指すものである。

① 案件組成

助成事業の申請に関わる相談や、採択団体の活動伴走支援等を行い、のべ410回(対面)の情報収集を行った。地域課題解決の事業化には資金的支援(助成事業の実施)のみならず、非資金的支援(助言や紹介、組織体制強化や人材育成)の総合的な支援メニューが重要と認識し、以下の事業に結び付ける取組を行った。

② 助成プログラムの開発と運用

案件組成から明らかになった課題を解決するため、事業の掘り起こしを行いつつ、資金的支援・非資金的支援で事業展開を応援した。

《南砺幸せ未来基金 自主事業 事業助成プログラム》

① 資金支援

<R6 年度 採択事業>

(1) 「未来を創るチャレンジ事業」

柔軟な運用で市民活動を支援する助成プログラムとなるように、本年からは通年募集とし、2 団体より相談をうけ、うち 1 団体から申請。審査を経て採択している。(1 団体は継続相談中)

申請団体 No.1 採択

申請者	ふくのぶっくらぶ
事業名	本と音楽を楽しむ会
事業期間	2024 年 11 月 1 日～2024 年 12 月 31 日
事業概要	<u>本を通して交流ができる場をつくる</u>
助成額	50,000 円
非資金的支援	・申請時:相談(申請書の書き方、事業設計、広報方法など) ・イベント実施:イベント状況の確認(実施状況や、主催者と来場者との関係性の確認など)

申請団体 No.2 相談中

申請者	Pon!マルシェ実行委員会
事業名	Pon!マルシェ
事業期間	2024 年8月1日～2025 年5月25日
事業概要	<u>南砺市内で開催するマルシェ</u>
希望助成額	50,000 円
非資金的支援	・申請時:相談(申請書の書き方、事業設計、安全性の確保、広報方法など) ・イベント実施:イベント状況の確認(実施状況や、主催者と来場者との関係性の確認など)

(2) 「R6市民活動応援事業」

2 団体より申請があり、審査会にて 2 団体を採択した。

申請者	東太美地域づくり協議会
事業名	安心安全のための東太美地区自主防災活動（防災マップ作成）事業
事業期間	2025 年 5 月 1 日～2025 年 9 月 30 日
事業概要	避難場所や非常時持出品チェックリスト・家庭備蓄の例を載せた「東太美地区防災マップ」を作成
助成額	200,000 円（満額採択）
非資金的支援	・申請時：相談（事業設計に関する確認等とアドバイス） ・採択後：審査会での評価コメントを踏まえ、事業計画の見直し。

申請者	NPO 法人よってカフェ
事業名	PENTO（中高生の学びの居場所づくり）
事業期間	2025 年 3 月 1 日～2025 年 7 月 31 日
事業概要	商店街に隣接した市街地の一軒家を中高生の自習のフリースペースとして開放し、放課後や休日の自習を受け入れるとともに、大学生と交流できるイベントを行う。
助成額	200,000 円（満額採択）
非資金的支援	・申請時：相談（事業設計に関する確認とアドバイス） ・採択後：現地訪問

(3) 「R6 社会貢献事業化プログラム」は公募していない。

② 非資金的（伴走）支援

◎伴走支援の例

- 申請前：資金調達に関する情報提供等
- 申請時：事業計画に関する相談、申請書作成の相談
- 採択後：計画見直しに関する相談
- 事業実施中：事業実施中の相談（計画変更、組織運営、出口戦略等の相談、広報、事業管理等）、イベント訪問
- 事業後：報告書作成、出口戦略等の相談

申請団体からの相談には、随時対応を行っている。

その他、必要に応じて現地訪問や、物品の確認、イベント訪問などを通じて、申請団体とのコミュニケーションをとり、情報提供や相談しやすい体制を整えている。

伴走支援を行った申請団体（事業）

（Ⅰ） R5 市民活動応援事業

申請者	小院瀬見自治会
事業名	小院瀬見、限界集落からの脱却
非資金的 支援	申請時：相談（事業設計に関する確認とアドバイス、出口戦略の確認など） 事業実施中：計画変更等の相談 イベント実施時：イベント状況の確認（実施状況や、主催者と来場者との関係性の確認など）

申請者	ふくみっつ
事業名	つなぐ・つながる ふくみっつ
非資金的 支援	申請時：相談（事業設計に関する確認とアドバイス） 事業実施中：組織運営に関する相談 イベント実施時：イベント状況の確認（実施状況や、主催者と来場者との関係性の確認など）

申請者	やえもんやプロジェクト
事業名	有形文化財やえもんやをみんなの集い広場にするプロジェクト
非資金的 支援	申請時：相談（事業設計に関する確認とアドバイス） 採択後：採択後：審査会での評価コメントを踏まえ事業計画の見直し。 事業実施中：計画変更等の相談 イベント実施時：イベント状況の確認（実施状況や、主催者と来場者との関係性の確認など）

（Ⅱ） R5 社会貢献事業化プログラム （3ヵ年事業）

申請者	木あそび工房
事業名	自動販売機ボックスへの木彫刻サイン設置による井波彫刻継続化事業
非資金的 支援	毎月定例の打合せの実施 ・事業進捗報告、出口戦略に関する相談、経理処理に関する相談 ・各種情報提供 ・ステークホルダーへのつなぎ等

申請者	(農)縄っこ
事業名	どぶろく製造
非資金的 支援	毎月定例の打合せの実施 ・事業進捗報告、出口戦略に関する相談、経理処理に関する相談 ・各種情報提供 ・ステークホルダーへのつなぎ等

《その他の事業》

① 事業指定寄付プログラム

事業指定寄付プログラムとは、「特定の事業を行う団体への寄付」に対して支援を行うもの。令和6年度はこのプログラムへの応募はなかった。次年度以降も、本プログラムを利用した事業を募集する。

② 冠基金の運用

第一交易株式会社からの寄付を元に、令和4年度に制度設計を行い、R5年度から本格運用が始まった。表彰制度「第一交易株式会社西能スポーツ賞」は、南砺市全ての小学6年生を対象にスポーツを通じた健全な心身の育成に貢献するものである。市内小学校全9校のうち、7校の学校から対象者の申請があり、各学校にて授賞式を行った。
今後も企業と当財団が連携する仕組みの構築を模索する。

《休眠預金等活用事業》

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」に基づき休眠預金等を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度を活用し、市内における活動助成を行った。

—2020年度に引き続き2021年度の事業を、コンソーシアム((公財)東近江三方よし基金、(公財)うんなんコミュニティ財団と(公財)南砺幸せ未来基金)として採択を受けけた。本年は事業終了年度として、事後評価、出口戦略の構築を目指し伴走支援を行った。

—2022年度はこれまでの2年間の事業(2020年度草の根、2021年度草の根)の展開で得た知見を北陸の地に展開するため、七尾未来基金設立準備会(現:(一財)里山里海未来財団)とコンソーシアムを組み、資金分配団体として採択された。本年は、事業中間時であるため、中間評価を実施し、残りの事業期間に向けての準備を行った。

○いずれの事業も、実行団体が社会的困難者を発見し手を結び、信頼関係のもと役割を生み出し地域住民や関係者に繋ぐことで希望や居場所の再生を図る事業である。

1. 2021 年度「社会的困難者を支えるローカルアクション」

2021 年度休眠預金活用事業「社会的困難者を支えるローカルアクション」で採択した3団体の伴走支援を実施。(事業最終年度)

実行団体名	特定非営利活動法人 よってカフェ	助成額/総事業 費	19,822,000 円 /25,167,400 円
事業名	生きづらさを抱える人も幸せになれる地域の居場所づくり (受け入れあい、刺激しあう!安心して過ごせる第三の居場所)		
中長期 アウトカム	事業終了後 5 年後に南砺市内において、みんなが安心して寄れる場所「よってカフェ」を常時開設できることにより、生きづらさを抱えている人が安心して社会とつながれる地域や社会になる。行政や関係機関と連携できることにより、生きづらさを抱えている人の情報が共有され、支援が必要な人に、必要な支援を届け、地域で見守ることが出来る地域や社会になる。		
非資金的 支援	社会課題 解決	・月1回以上の担当 PO 打合せ ・事前評価ヒアリングによって直接受益者の解像度を高める支援	
	組織基盤 強化	・会計支援 ・ガバナンスコンプライアンス体制構築支援	
	環境整備	・関係者ヒアリング	

実行団体名	農事組合法人 大鋸屋営農組合	助成額/ 総事業費	14,570,400 円 /18,213,000 円
事業名	中山間地の地域コミュニティを維持し、誰もが安心して暮らせる地域共生社会を目指す。(集落の環境や農地と生活を守るため、集落営農組織の活性化と共に、次世代を担う後継者人材を育成する)		
中長期 アウトカム	農作業が困難となり後継者のいない高齢者の農地を経営改善した集落営農組織に安心して引き継ぎ、その下で、意欲のある若手の参入者が希望を持って営農や環境保全を行う。また、営農組織は、住民自治組織と一体となり生活を支える活動を行い、幸せに暮らすことの出来る地域共生社会を実現している。		
非資金的 支援	社会課題 解決	・月1回程度の担当 PO 打合せ ・事前評価ヒアリングによって直接受益者の解像度を高める支援	
	組織基盤 強化	・会計支援	
	環境整備	・若手農業者育成塾の開校支援	

実行団体名	一般社団法人 福野アソシエイツ	助成額/ 総事業費	13,000,000 円 /15,000,000 円
事業名	福野まちなかりノベーション事業（子育て世代が安心して働けるコミュニティ創造）		
中長期 アウトカム	子育て世帯の人たちが互いに支えながら、子育てを行うコミュニティが形成され、その中で育つ子供たちは、生活習慣、健康管理も安定し、自己肯定感をしっかりと持てる子に育つ。それらが、子ども達が学ぶ意欲と将来への希望につながり、格差なく生き活きと過ごせるようになる。ひとり親の世帯の子どももそうでない子供も同じ子育てのコミュニティの中で育つことにより、親も子も社会から取り残されることのない地域となる。		
非資金的 支援	社会課題 解決	・ニーズ把握ヒアリングへの支援 ・事業計画のブラッシュアップ支援	
	組織基盤 強化	・人員配置へのアドバイス	
	環境整備	・関係者ヒアリング ・関係者へつなぐ	

2. 2022 年度「社会的困難者が役割と希望を再生するコミュニティ活動」

実行団体名	株式会社ツチカラ	助成額/ 総事業費	20,000,000 円 /21,938,901 円
事業名	「地域のつながりと資源の循環」を新規就農者が生み出す事業（新規就農者の営農支援と健康に暮らせる地域をつくる事業）		
中長期 アウトカム	事業終了5年後には、廃棄される様々な有機物から堆肥（有機肥料）を製造。堆肥を中心に様々な人々がつながり、共有するヴィジョンを持ったコミュニティが生まれる。事業終了後10年後には販売には新規就農者が安心して営農継続できる環境が整い、地域に根差した農業者に成長する。コミュニティの拡がりとともに南砺市の新規就農者は増えていき、後継者がおらず希望を失いつつあった地域の高齢農業者が、先祖代々守り繋いできた土地を未来ある若者に継承していく。高齢化と過疎が深刻になっていた農村は次第に活気づき、南砺市の財産でもある美しい農村風景は守られ、だれもが健康に暮らせる持続可能な社会を創出する。		
非資金的 支援	社会課題 解決	・ニーズ把握ヒアリングへの支援 ・事業計画のブラッシュアップ支援	
	組織基盤 強化	・人員配置へのアドバイス	
	環境整備	・関係者ヒアリング ・関係者へつなぐ	

(イ) 情報発信・普及啓発

財団の設立趣旨や目的などを広く啓発を行うことで、市民の理解や参加を促す。

① 設立 5 周年記念イベントの開催

12 月 1 日にいのくち椿館において、「ひと」と「未来」をつなぐフォーラム ～南砺幸せ未来基金 5 周年記念祭～を開催した。

—基調講演（プラスソーシャルインベストメント株式会社代表取締役 野池雅人氏）

—パネルディスカッション【パネリスト：（公財）東近江三方よし基金事務局長山口美知子氏、（一社）ジソウラボ代表取締役島田優平氏、（公財）南砺幸せ未来基金事務局長浦井啓子、コメンテーター：野池雅人氏、ファシリテーター：吉澤保幸氏】

○同時開催

—これまで事業採択した団体の事業紹介ポスター展示。（33 団体）

—チャレンジマルシェの開催。これまで関わりのあった団体を中心に声掛けを行い 13 団体が出店した。

② 活動報告会

設立 5 周年イベントに合わせ第 5 回頑張る人・地域応援事業の採択団体（2 団体）、2020 年度休眠預金活用等事業の採択団体（1 団体）計 3 団体の活動報告を行った。

③ 地域づくり協議会・まちづくり団体への説明

南砺市で活動するまちづくり団体に財団の周知は不十分であり、引き続き効果的な発信と連携が求められる。

④ ホームページや SNS による情報発信

財団の運営や助成事業、各種取り組み等をホームページや各種 SNS（Facebook・Twitter・Instagram）等に適宜アップして公開している。

⑤ 寄付者への訪問による財団運営の説明

個人や団体、企業等からの寄付を頂き財団運営を行っている。寄付者の方々に財団運営の説明とまちづくりのご意見を頂くと共に継続的な協力を依頼している。本年は、寄付に特化したパンフレットを作成し、市内全戸配布を行うことはできたが、寄付者へ訪問説明は実施できなかった。引き続き、様々な機会を通じて説明を行っていく。

⑥ ニュースレター・アニュアルレポートの発行

財団パンフレットを一新し、寄付に特化したパンフレットも作成し、南砺市全体に配布を行った。5 周年記念イベント時に作成した団体紹介も小冊子にまとめた。また 2021 年度休眠預金事業報告書を発行した。

会報、アニュアルレポート、休眠預金事業インパクトレポートなどは、寄付者や関係者に説明する大切なツールであり、いろんな場面や説明などで活用した。

(ウ) 調査・研究

多くの地域課題や社会課題がある南砺市において、市民が支え合い地域の持続可能性を高める循環共生型社会づくりには、市民自らが支える仕組みを構築する新たな取り組みの創設が必要である。

本年度は、課題の深堀を行うために、テーマを決めて訪問による地域課題の収集を実施し、地域課題の洗い出しと要因分析を行った。

① 農業

2022 年度休眠預金等活用事業における採択団体の事業伴走の一環として、令和 5 年度に引き続き、南砺市における新規就農者の現状と課題を把握するためにアンケートと関係者へのヒアリングを実施し、報告書としてとりまとめ、HP で公開した。

② 子育て・保育

2021 年度休眠預金等活用事業における採択団体の事業伴走の一環として、南砺市における子育て環境の現状と課題を把握するためにアンケートと関係者へのヒアリングを実施した。報告書としてとりまとめ、HP で公開した。

(エ) 資金調達

安定した財団運営を行うための運用資金となる寄付金や遺贈金を受けるため、一般寄付や、サポーター会員制度の周知・啓発を図った。

まだ財団として遺贈寄付の実績はないが、多くの機会に周知に努め、遺贈を通し社会貢献したいとの思いを受け止める体制の整備に努める。

(オ) 組織基盤強化

多くの課題を有する南砺市において循環共生型社会の構築には、これまで記載重点事項の取り組みと共に財団の組織基盤の強化が必要である。

1. 組織経営・財務運用

財団組織に関し、各種会議（業務執行理事会や部会）を見直し、組織体制を評議委員会、理事会と運営委員会・コンプライアンス委員会・事務局とした。財務運用に関して、休眠預金活用事業管理費や各種寄付及び行政からの委託事業等で賄えているが、引き続き財務基盤の強化に取組む必要がある。

2. プログラムオフィサーの育成・雇用

事業の実施団体の支援（事業伴走に加えてネットワーク作り及び組織基盤の強化などの非支援的支援）には、プログラムオフィサーの人材育成が欠かせない。自主事業に加えて、休眠預金活用事業の実践や研修プログラムの受講、「東近江・雲

南・南砺ローカルコミュニティファンド連合」における学び合いを通して、知見を共有しプログラムオフィサーとしての育成につなげている。

3. 資金管理、支援事業、組織体制の確実な運用

財団事務局の事務事業を細分化と可視化、事務局会議等で情報共有を行い適正な財団運営につなげている。他地域のコミュニティ財団協会との交流および研修会等にも積極的に参加し、コミュニティ財団として知識や他団体とのつながりの構築に努めている。

4. なんと未来支援センターとの連携

南砺市の中間支援組織である「なんと未来支援センター」と共に連携してまちづくりを支援する体制整備を進めた。今後も市民にとって分かりやすく活用してもらいサービス展開ができるように、より効果的な支援や連携のあり方を模索していく。

II 運営に関する実績

1. 寄付金の状況

一般寄付	24件	739,454 円
サポーター会員/個人年会費	8件	160,000 円
サポーター会員/法人年会費	12件	620,000 円
冠基金	1 件	1,000,000 円
その他:募金箱		8,897 円
総額		2,528,351 円

2. 会議状況

(1) 理事会

会議名	日時	内容
第1回理事会	5月22日	・令和5年度事業報告 ・令和5年度計算書類及びその附属明細書並びに財産目録 ・役員改選 ・評議員会の開催及び目的事項の決定
第2回理事会	6月10日	・代表理事の選定 ・業務執行理事の選定 ・副理事長、専務理事の選定

第3回理事会	11月6日	・規程の新規制定、改定 ・5周年イベント
第4回理事会	3月21日	・令和7年度事業計画(案)承認 ・令和7年度収支予算(案)承認 ・R6市民活動応援事業採択結果承認 ・規程の改定 ・チャレンジ事業(報告)

(2) 評議員会

会議名	日時	内容
定時評議員会	6月10日	・令和5年度事業報告 ・令和5年度計算書類及びその附属明細書並びに財産目録 ・役員改選 ・令和6年度事業計画(報告) ・令和6年度予算計画(報告)

(3) 運営委員会

会議名	日時	内容
第1回運営委員会	7月14日	・今後の財団の運営について ・設立5周年イベントについて
第2回運営委員会	9月22日	・設立5周年イベントについて ・寄付パンフレットについて ・チャレンジ事業について

(4) コンプライアンス委員会

会議名	日時	内容
第1回コンプライアンス委員会	9月30日	・R6年度コンプライアンス運営計画 ・財団の法令順守体制の現状と課題 ・コンプライアンス体制構築ための具体策
第2回コンプライアンス委員会	3月19日	・R6年度の実施状況 ・実施状況に対する評価 ・来年度の計画

3. 監査の実施

令和6(2024)年5月15日、監事(2名)が令和5年度の監査を実施し監査報告書を作成した。

4. 寄付者名簿作成

令和5(2023)年度に引き続き、令和6(2024)年度の寄付者の名簿を整備した。

5. 受託事業

南砺市より以下の事業目的の業務委託を受託している。

- (1) 地域伴走支援体制強化事業 業務委託

契約額 4,631,000 円

期間 令和6(2024)年4月1日～令和7(2025)年3月31日

内容:市内の課題解決能力を高め、地域課題の要因の洗い出しや段階を踏んだサポート、資金調達のアドバイス等、事業化への支援が行える人材を育成し、継続的な地域活動への支援を行うもの。

- (2) 南砺市誕生 20 年プロジェクト市民活動応援事業運営業務委託

契約額 489,500 円

期間 令和6(2024)年4月17日～令和7(2025)年3月31日

内容:「南砺市誕生 20 年プロジェクト市民活動応援事業補助金」執行にあたり、公募から採択、実績確認までの一連の業務委託。

実績:相談団体数 42 団体、うち申請 36 団体、うち採択 23 団体

- (3) 未来ミーティング(外国人)運営業務委託事業

契約額 99,000 円

期間 令和6(2024)年4月1日～令和6(2024)年8月31日

内容:対話による協働のまちづくりを進めるためになんと未来ミーティング(外国人コース)開催の運営支援業務委託を行うもの。

6. 他機関等の連携

特に、以下の団体と連携し事業を実施した。

- ・南砺市

事業の受託、事務局業務

- ・(一社)なんと未来支援センター

地域課題解決に向けた情報共有と連携、相互の会議への出席

- ・公益財団法人東近江三方よし基金、公益財団法人うなんコミュニティ財団

休眠預金事業資金分配団体としてコンソーシアムを構成、各種知見の共有

- ・七尾未来基金設立準備会(現:一般財団法人里山里海未来財団)

休眠預金事業(2022 年度枠)の資金分配団体としてコンソーシアムを構成

- ・一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)

休眠預金事業の指定活用団体、各種研修会なども実施

- ・(一社)全国コミュニティ財団協会

コミュニティ財団の全国組織。各種研修の開催や情報提供

- ・(一社)全国レガシーギフト協会

遺贈に関する連携